

主要3項目すべて前期並み

引き続き原材料費・仕入価格などコスト上昇の影響大

＜調査機関＞ 北九州商工会議所

＜調査期間＞ 令和5年2月27日～3月24日

〔参考〕調査開始日(2/27)の株価及び外国為替市況

日経平均株価終値 27,423 円 96 銭、東京外国為替市場対ドル円相場終値 136 円 20 銭

＜回答数＞ 470 社(製造業 112 社・非製造業 358 社)

＜調査方法＞ 郵送・メール・ヒアリングによるアンケート調査方式



本件に関するお問い合わせは、

北九州商工会議所 産業振興課 (TEL:541-0185)

< 概 況 >

◆【主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)】

主要3項目すべて前期並み

次期は経常利益のみ悪化を予測

◆【業種別】

卸売業、サービス業は主要3項目すべて改善。運輸業、建設業はすべて悪化

製造業は2年ぶりに主要3項目すべてマイナス水準となる

次期は運輸業が主要3項目すべて改善を予測。卸売業、小売業はすべて悪化を予測

◆【規模別】

大規模企業は「業況判断」と「売上高」改善

中規模企業は「経常利益」のみ改善

次期は大規模企業が主要3項目すべて悪化を予測

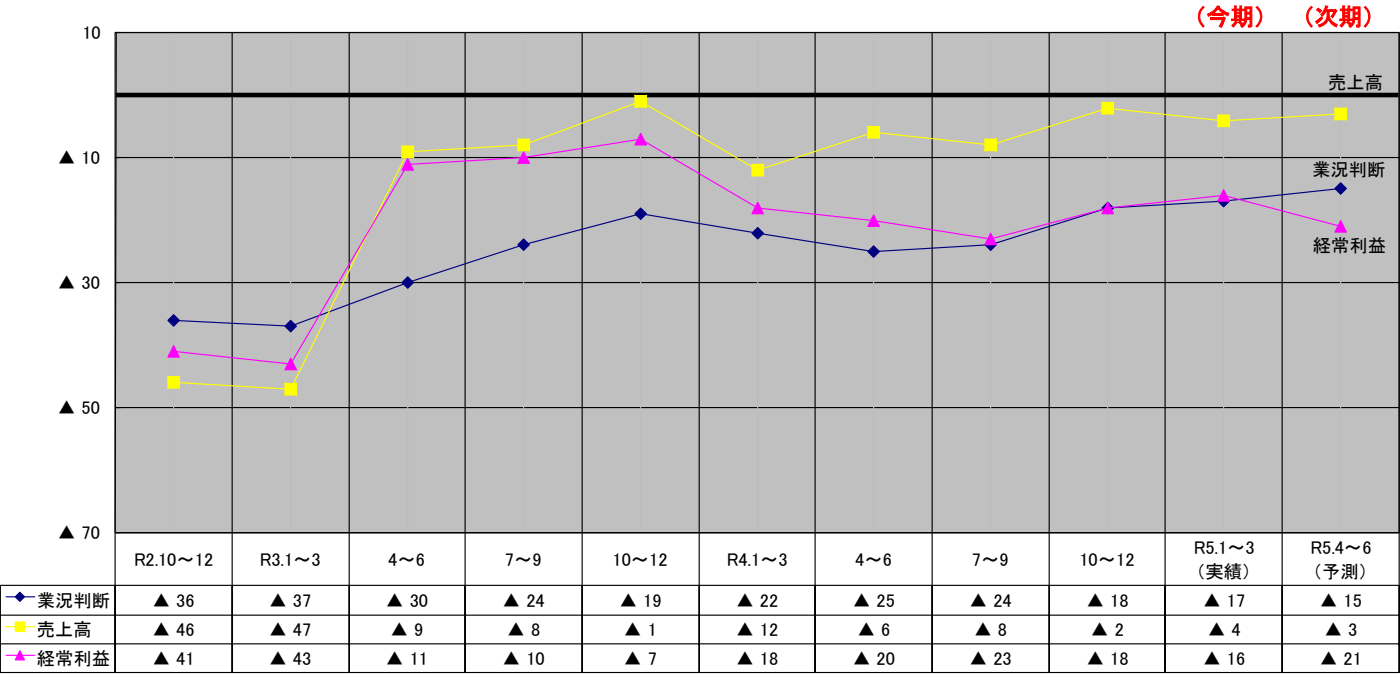
※DI(景気動向指数:Diffusion Index)とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向(増加・上昇・改善)の回答割合からマイナス傾向(減少・下降・悪化)の回答割合を差し引いたもの。このDIは基本的には変化の方向を表す。

(注)▲はマイナス。また、前回調査数値との差が1.0ポイント未満の場合は、「横ばい」での推移と判断する。

主要3項目(業況判断・売上高・経常利益)DIの動向

<今期実績> (1-3 月期)
 ・主要3項目すべて前期並み

<次期予測> (4-6 月期)
 ・経常利益のみ悪化を予測



	12 月調査時の 1～3 月期予測	1～3 月期実績
業況判断	▲23	▲17
売上高	▲8	▲4
経常利益	▲23	▲16

業種別

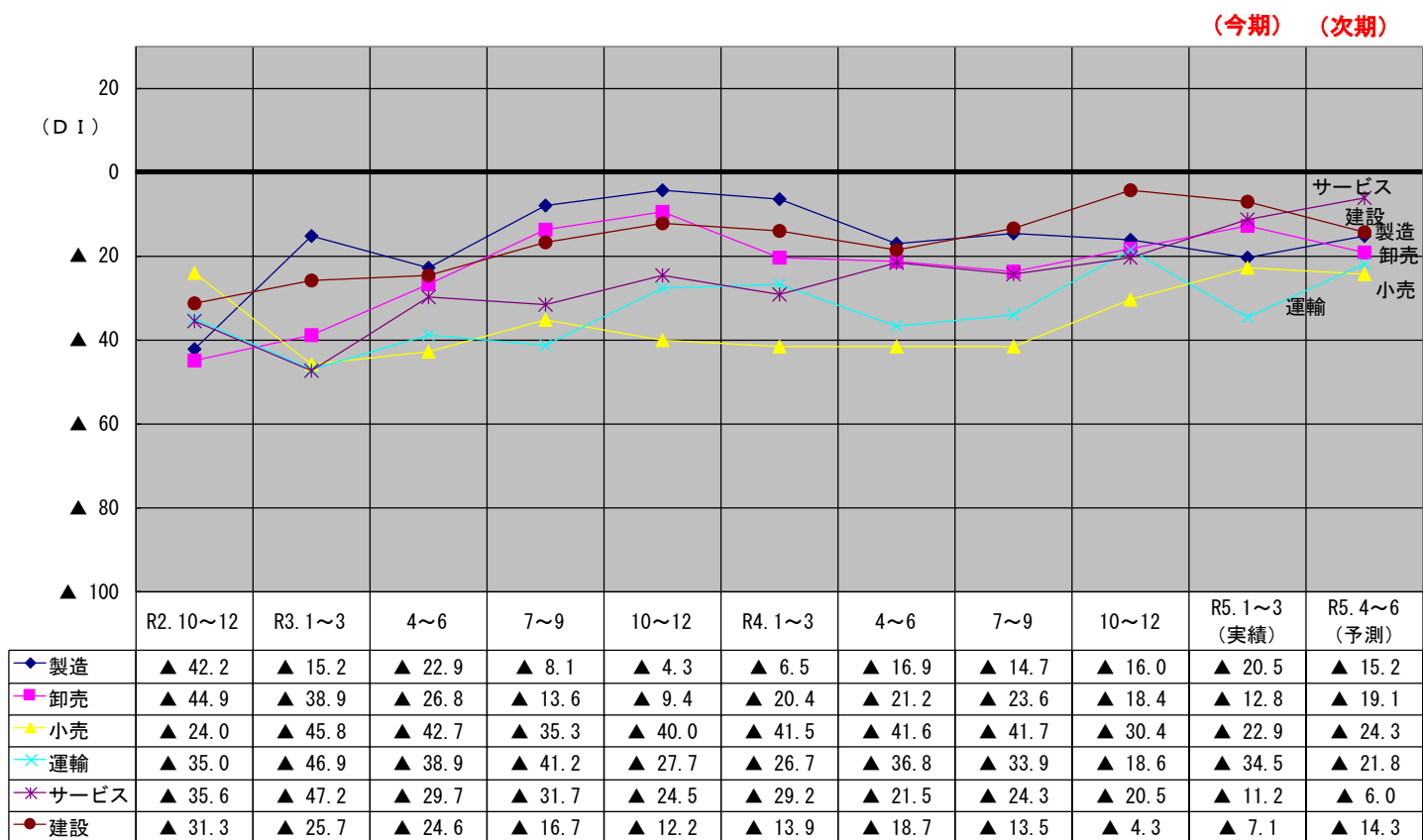
業況判断DI

＜今期実績＞（1～3 月期）

- ・卸売業と小売業、サービス業は改善
- ・運輸業は 15.9 ポイント悪化

＜次期予測＞（4～6 月期）

- ・製造業と運輸業、サービス業が改善を予測。特に運輸業は 12.7 ポイント改善を予測



	12 月調査時の 1～3 月期予測	1～3 月期実績
製造	▲16.8	▲20.5
卸売	▲26.5	▲12.8
小売	▲40.6	▲22.9
運輸	▲27.1	▲34.5
サービス	▲17.3	▲11.2
建設	▲20.0	▲7.1

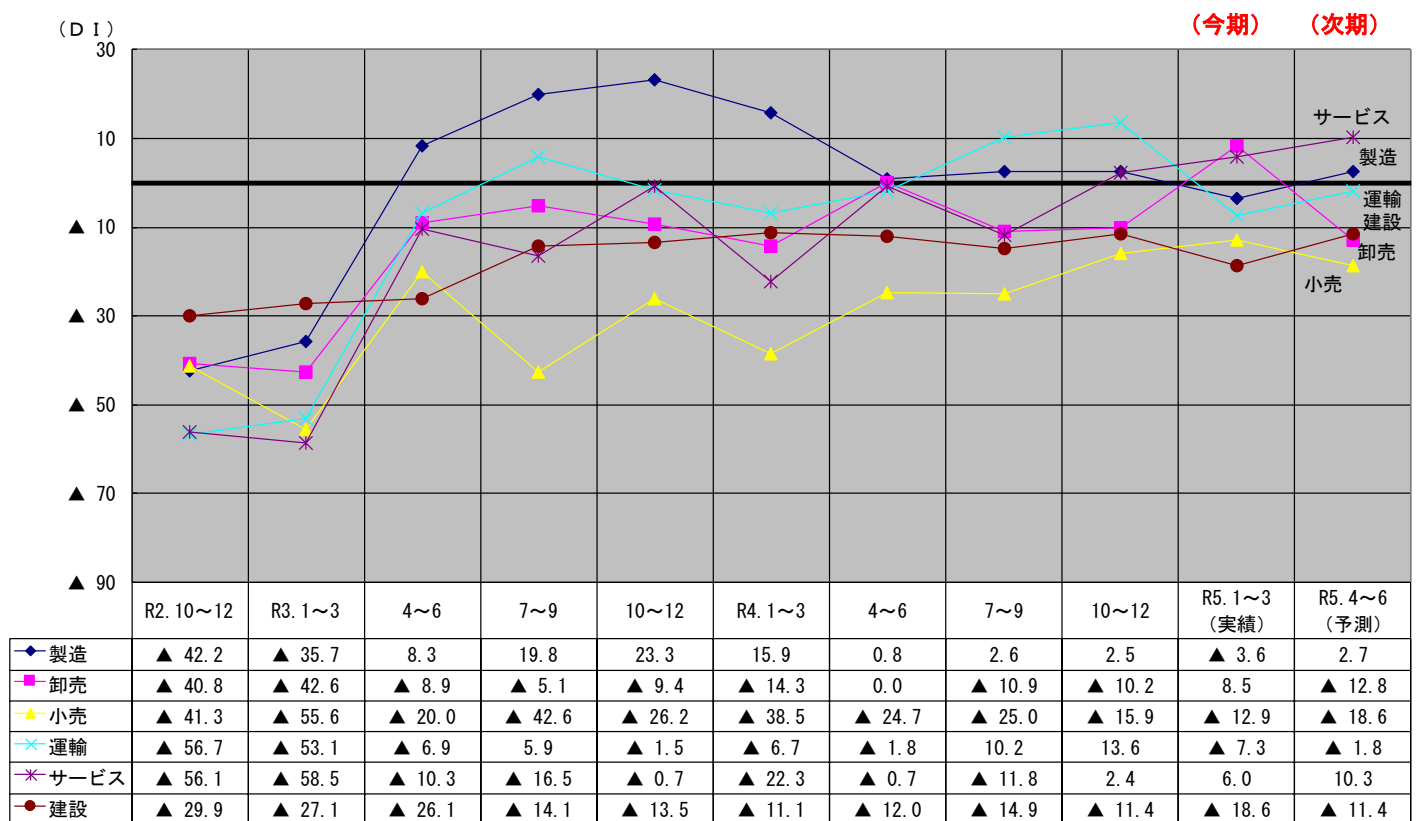
売上高DI

＜今期実績＞（1～3 月期）

- ・卸売業と小売業、サービス業が改善
特に卸売業は 18.7 ポイント改善し、サービス業は 2 期連続プラス水準
- ・運輸業は 20.9 ポイント悪化
- ・製造業は 2 年ぶりマイナス水準

＜次期予測＞（4～6 月期）

- ・卸売業と小売業が悪化を予測。特に卸売業は 21.3 ポイント悪化を予測



	12 月調査時の 1～3 月期予測	1～3 月期実績
製造	0.8	▲ 3.6
卸売	▲ 16.3	8.5
小売	▲ 26.1	▲ 12.9
運輸	5.1	▲ 7.3
サービス	0.0	6.0
建設	▲ 22.9	▲ 18.6

経常利益DI

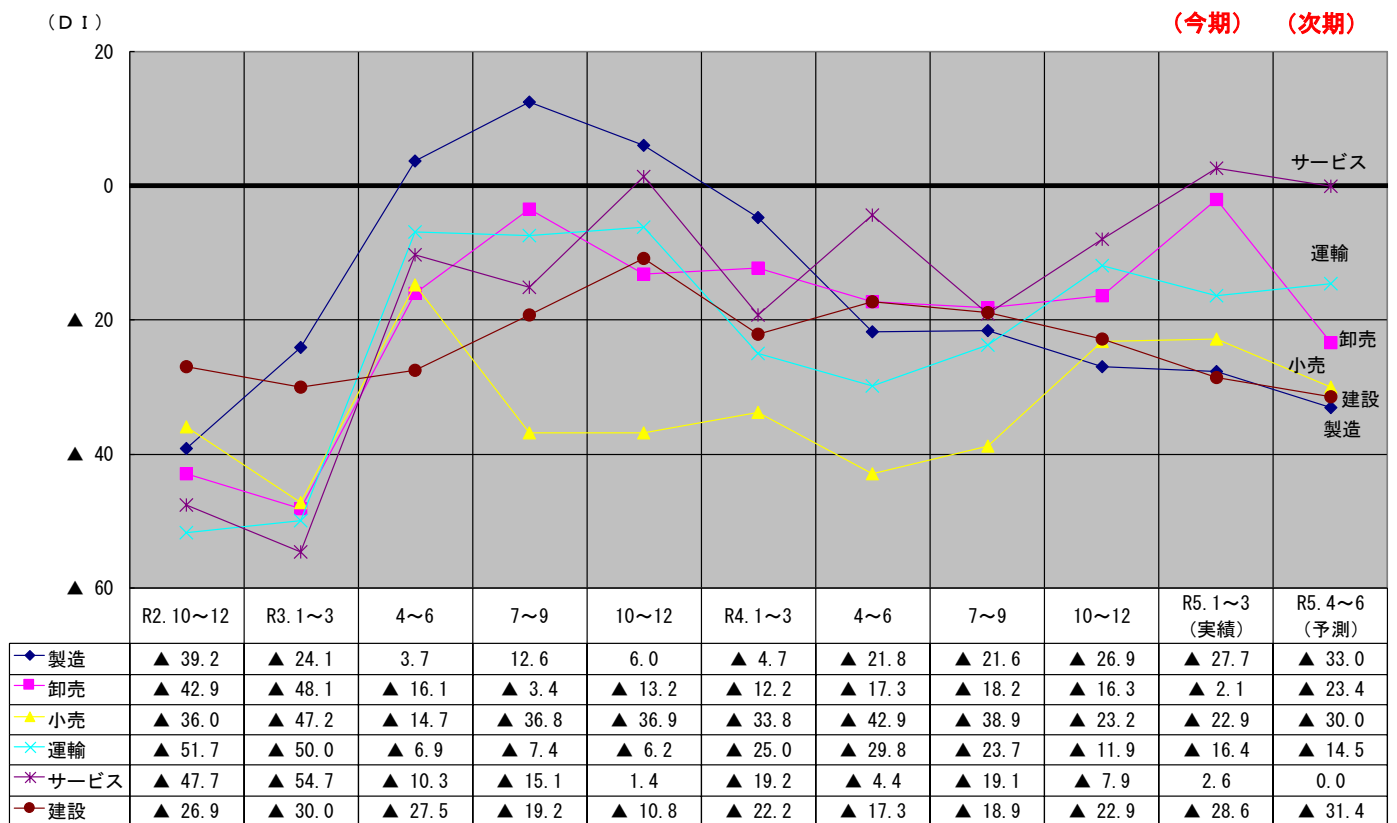
<今期実績> (1-3 月期)

・卸売業とサービス業は改善、運輸業と建設業は悪化

<次期予測> (4-6 月期)

・運輸業のみ改善を予測

・卸売業が 21.3 ポイント悪化を予測



	12 月調査時の 1~3 月期予測	1~3 月期実績
製造	▲21.8	▲27.7
卸売	▲22.4	▲2.1
小売	▲33.3	▲22.9
運輸	▲23.7	▲16.4
サービス	▲11.8	2.6
建設	▲31.4	▲28.6

— 規 模 別 —

業況判断DI

<今期実績> (1-3 月期)

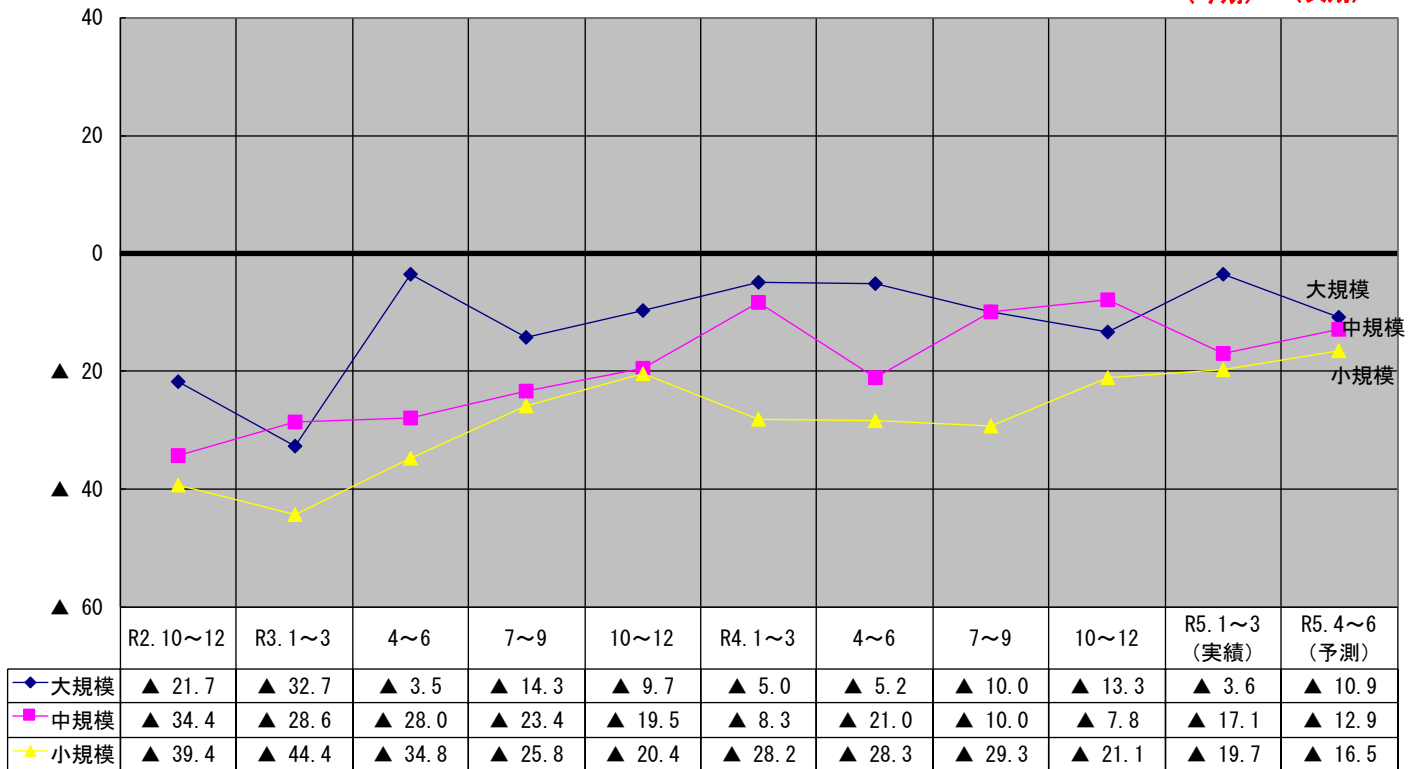
- ・大規模企業と小規模企業は改善、中規模企業は悪化

<次期予測> (4-6 月期)

- ・大規模企業は悪化、中規模企業と小規模企業は改善を予測

(DI)

(今期) (次期)



	12 月調査時の 1~3 月期予測	1~3 月期実績
大規模	▲16.7	▲3.6
中規模	▲10.4	▲17.1
小規模	▲26.7	▲19.7

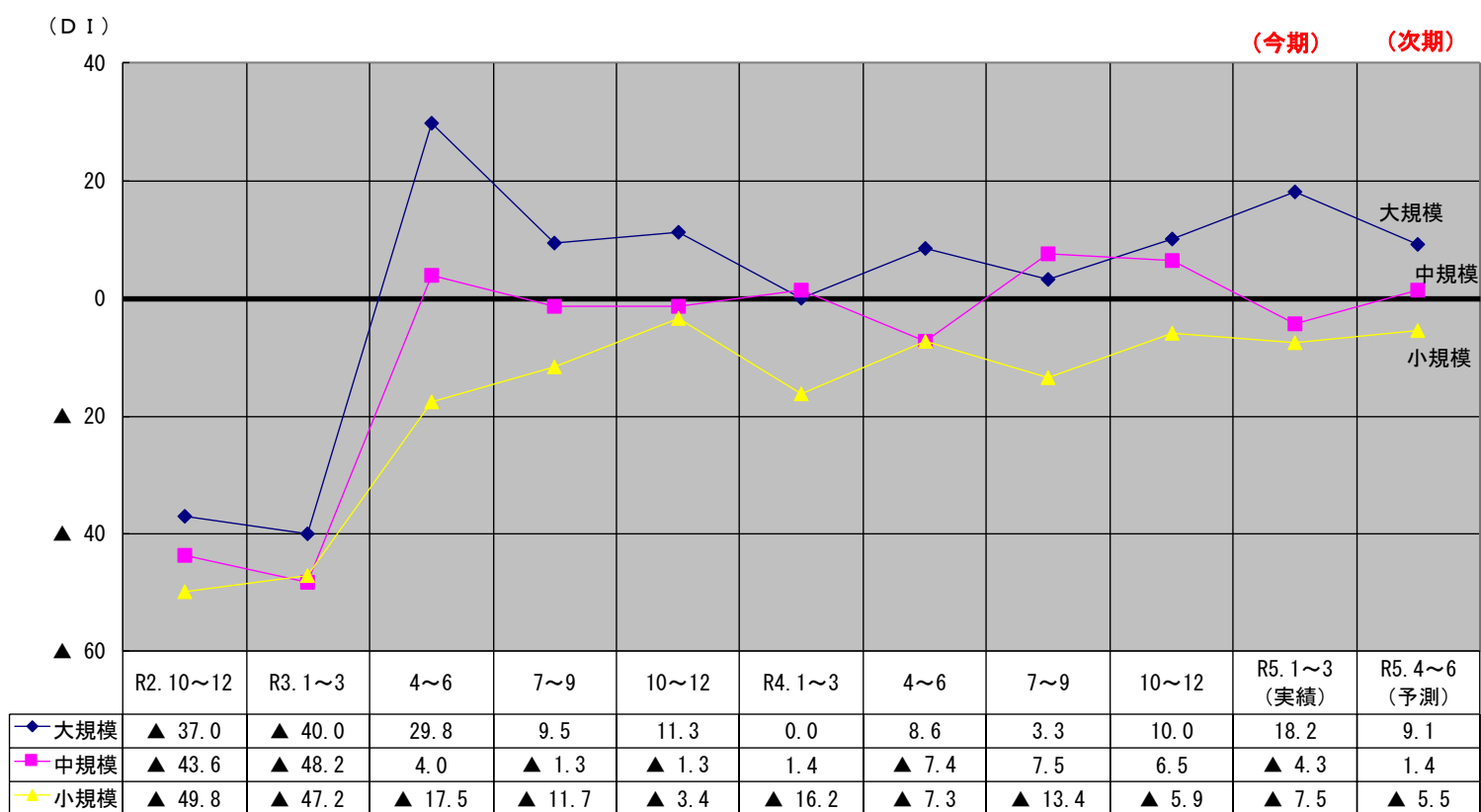
売上高DI

<今期実績> (1-3 月期)

・大規模企業は改善、中規模企業と小規模企業は悪化

<次期予測> (4-6 月期)

・大規模企業は悪化、中規模企業と小規模企業は改善を予測



	12 月調査時の 1~3 月期予測	1~3 月期実績
大規模	6.7	18.2
中規模	0.0	▲4.3
小規模	▲11.8	▲7.5

経常利益DI

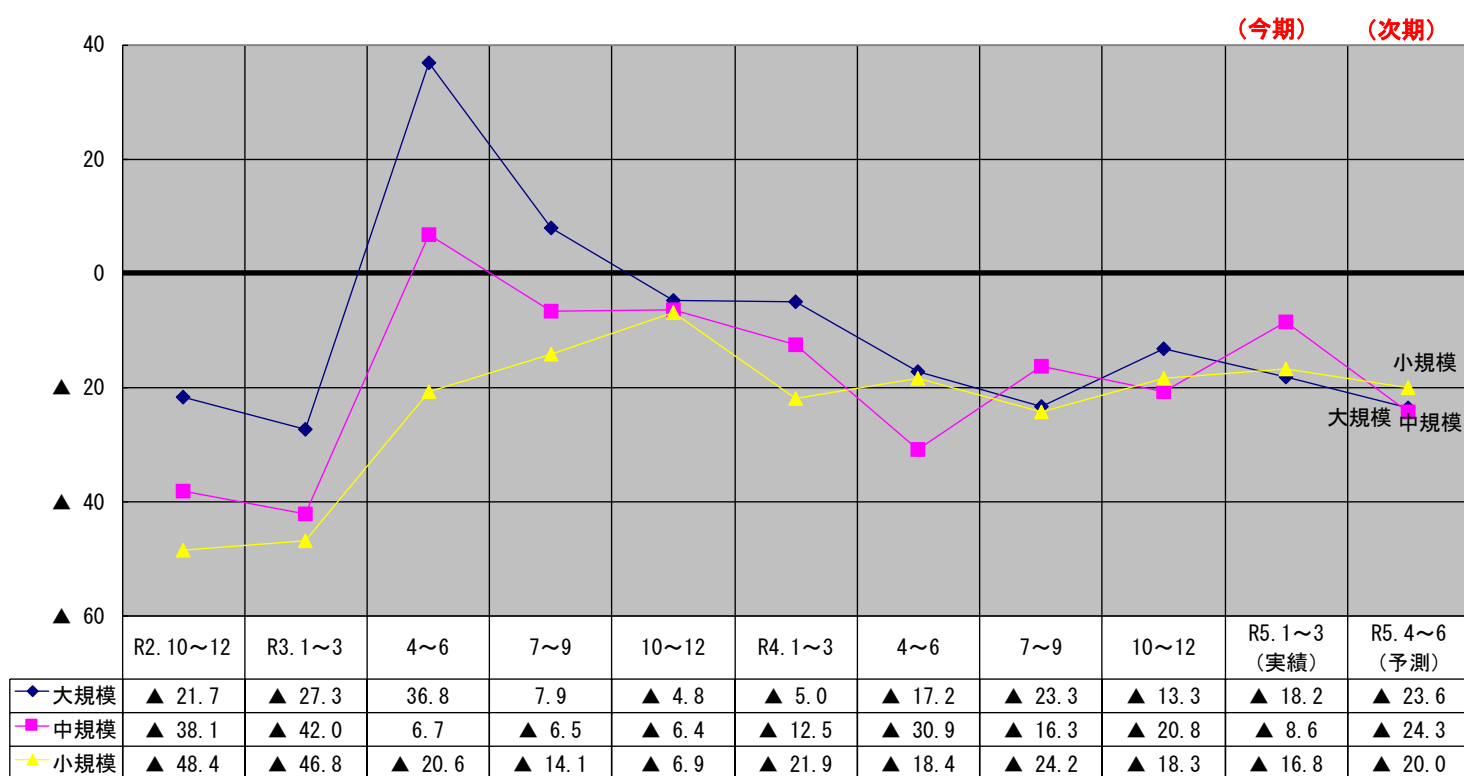
<今期実績> (1-3 月期)

- ・大規模企業は悪化、中規模企業と小規模企業は改善

<次期予測> (4-6 月期)

- ・すべての規模で悪化を予測

(D I)



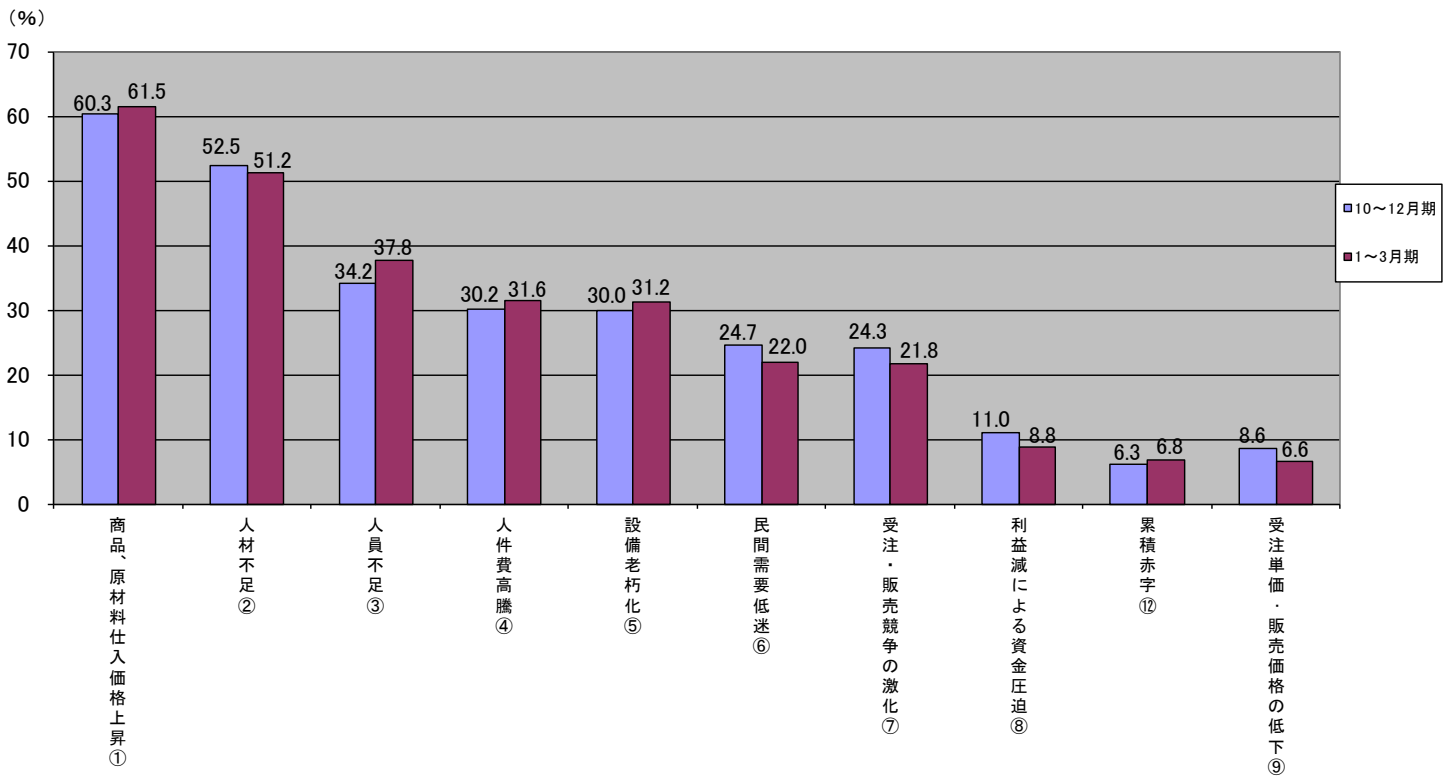
	12 月調査時の 1~3 月期予測	1~3 月期実績
大規模	▲10.0	▲18.2
中規模	▲20.8	▲8.6
小規模	▲25.0	▲16.8

その他項目 DI の動向

	R3 年		R4 年				R5 年	
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3 (実績)	4~6 (予測)
①販売価格・ 受注単価 (「増加」-「減少」)	▲1.9	7.5	6.7	13.5	15.9	22.7	26.3	27.4
②資金繰り (「容易」-「困難」)	3.7	6.3	5.2	7.8	5.6	5.6	8.4	5.8
③設備投資 (「増加」-「減少」)	▲12.4	▲3.6	▲13.1	▲0.6	▲2.0	▲2.1	▲0.2	▲4.3
④雇 用 (「過剰」-「不足」)	▲28.6	▲35.7	▲37.8	▲36.3	▲39.4	▲41.2	▲41.9	▲42.1

- ①「販売価格・受注単価」……前期から 3.6 ポイント上昇。次期もやや上昇を予測
 ②「資金繰り」……前期から 2.8 ポイント改善、次期は悪化を予測
 ③「設備投資」……前期から 1.9 ポイント改善、次期は悪化を予測
 ④「雇用」……前期から横ばい、次期も横ばいを予測

経営上の問題点上位 10 項目 (複数回答)



※項目の後の数字は前回調査結果の順位

企業の声

- 需要が伸び悩んでいる中、エネルギーコストの急騰が収益を圧迫。販売価格への転嫁に取り組んでいるが、先行き不透明な状況にある
【製造業(窯業・土石)・大規模】

- 卵の供給不足で、商品の製造に大きな影響が出ている
【製造業(飲食料品)・小規模】

- 物価上昇等を鑑みると中小企業も従業員の賃上げから目を背けることができないと考えている
【製造業(機械金属)・小規模】

- 仕入価格上昇分は商品価格に転嫁できても、水道光熱費、人件費など一部経費は転嫁できず、利益が減少している
【小売業(飲食料品)・小規模】

- 仕入価格の急騰により今は何とか価格転嫁している状況だがこの先は不透明。
賃金は上げたいが税金や社会保険料の負担が増加する収入の壁が影響し、パートタイマーも不足している
【小売業(飲食料品)・小規模】

- 昨年と比較し売上は増加しているが、原油価格高騰などの影響もあり、資金繰りは厳しくなっている
【運輸業(旅客運送)・小規模】

- 新型コロナウイルス感染者数が落ち着き、イベント等が再開されてきたことにより売上は増加。
人件費高騰分も一部は価格転嫁できている
【サービス業(その他のサービス業)・大規模】

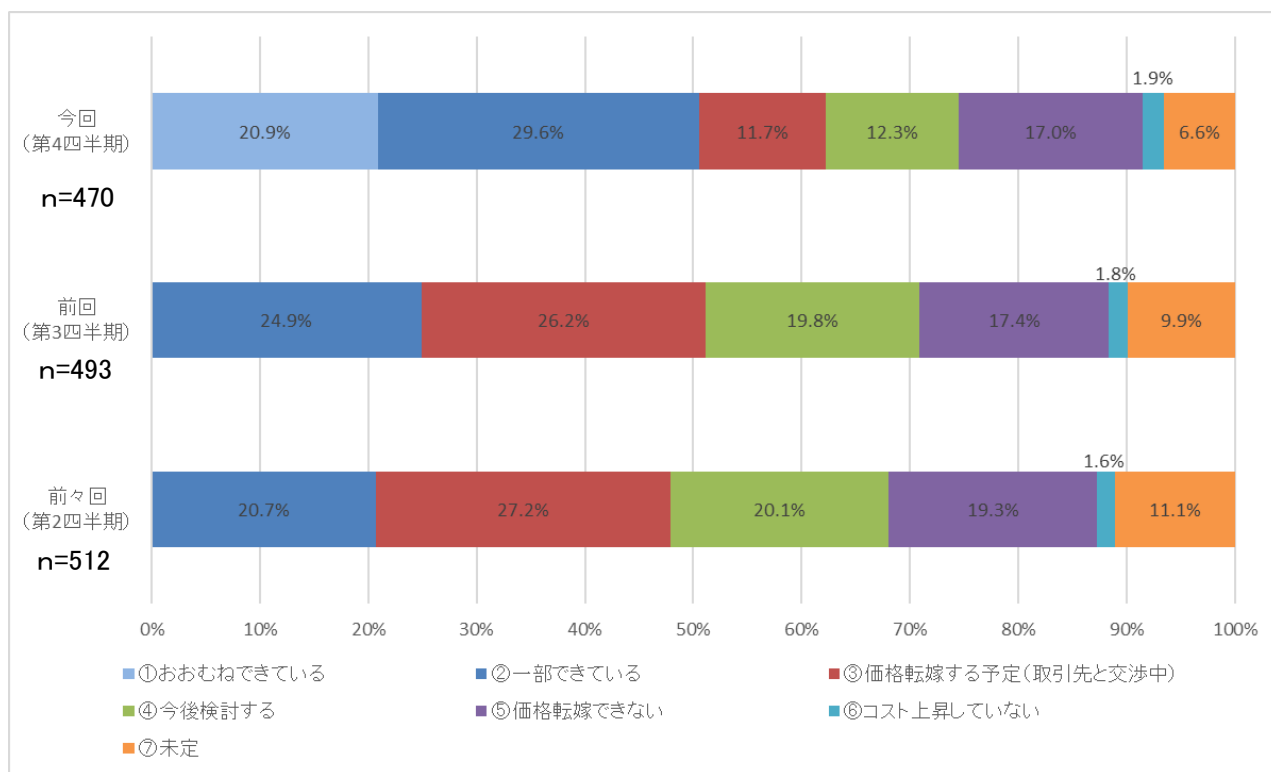
- 仕入価格や燃料費、人件費など様々な経費が高騰しているが、さらなる値上げは顧客離れが不安である
【サービス業(飲食業)・小規模】

- 資材高騰により材料や工賃分が膨らみ利益を圧迫している。受注価格が若干増加しているため、コスト増加分の一部は価格が転嫁できているものの、すべて転嫁できるかは不透明である
【建設業(総合建設)・小規模】

付帯調査

コスト増加に伴う価格転嫁について

(1) 原油価格や原材料価格の高騰などによるコスト増加分を価格転嫁できていますか。



※前回(第3四半期)と前々回(第2四半期)は①と②をまとめて「すでに価格転嫁している」という選択肢として質問